

日本写真測量学会平成 26 年度年次学術講演会 プログラム

開催日時：平成26年 5月22日(木) 10時00分～16時10分
 16時30分～18時00分 第53回定時総会 会場：An棟 2階 コンベンションホール
 18時00分～20時00分 懇親会 会場：An棟 1階「Capo」 参加費：5,000円(学生 4,000円)
 5月23日(金) 9時30分～16時20分

開催場所：東京大学生産技術研究所 An棟 コンベンションホール(2階)及び大会議室(3階/301・302)
 〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1
 URL：http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html

参加費：会員 2,000円, 非会員 3,000円, 学生 2,000円(会員・非会員共) (いずれも論文集代含む)

第1日目 5月22日(木)

開会のあいさつ 会長 近津 博文

10:00-10:10

コンベンションホール (An棟2階)			大会議室 (An棟301・302)		
セッション A	画像計測(1)	司会 今井靖晃 (国際航業)	セッション C	点群解析	司会 布施孝志 (東京大学)
10:15-10:35	A-1 斜め写真の大气効果の自動除去 ○和島 茂・角田 均 (青森大学)		10:15-10:35	C-1 街路空間で取得されたランダム点群の投影モデルの自動選択 ○片岡恒之輔・中川雅史 (芝浦工業大学)	
10:35-10:55	A-2 高ダイナミックレンジ画像を用いたコントラスト改善画像の適用について ○鈴木英夫・長谷川美空・青木利昌 (朝日航洋)		10:35-10:55	C-2 エリアスキャナを用いた三次元計測補測手法におけるレジストレーション ○落合健太・小林珠己・中川雅史 (芝浦工業大学)	
10:55-11:15	A-3 MMS データによるマンホール自動認識に関する研究 ○崔 載永・朱 林・チャタクリ スバス (パスコ)・その他2名		10:55-11:15	C-3 地上型レーザスキャナの反射強度の計測特性に関する検討 ○坂田健太・力丸 厚 (長岡技術科学大学)・桑原直樹 (桑原測量社)・その他2名	
11:15-11:35	A-4 2013年西之島噴火の海岸線の初期変化 ○神谷 泉 (国土地理院)		11:15-11:35	C-4 3次元都市モデルからのオブジェクト抽出 ○馬河紘子・浦本洋市 (パスコ)	
11:35-11:55	A-5 LM 法による5点法の解法 ○織田和夫 (アジア航測)		11:35-11:55	C-5 インドア MMS データからの壁面ポリゴン抽出 ○中川雅史・片岡恒之輔・山本達也 (芝浦工業大学)・その他2名	
11:55-13:00	昼 食				
13:00-14:00	バンダーフォーラム 司会 中西芳彦 (国際航業)				
	1. (一財)リモートセンシング技術センター(ALOS 全世界デジタル3D 地形データについて) 2. リーグルジャパン(株)(RIEGL 社レーザースキャナ最新情報) 3. 日本スペースイメージング(株)(SkySat 衛星画像製品のご紹介) 4. 朝日航洋(株)(アクアスコーププラスのご紹介) 5. 国際航業(株)(国際航業における空間情報技術の取り組み) 6. (株)パスコ(パスコ最新衛星関連商材のご案内) 7. ライカジオシステムズ(株)(ライカの最新のセンサー紹介) 8. 日本インターグラフ(株)(Hexagon Geospatial が提供する写真測量ソフトウェア) 9. Exelis VIS(株)(最新のリモートセンシングアプリケーションのご紹介) 10. アジア航測(株)(アジア航測のセンシング技術) 11. (株)インフォサーブ(LiDAR データ処理ソフトウェア VG4D SmartLiDAR のご紹介) 12. (株)ピジョンテック(マルチスペクトルカメラ用「太陽入射光センサー-ILS」のご紹介)				
14:00-14:10	休 憩				

セッションB		レーザ計測(1)	司会 神谷 泉 (国土地理院)	セッションD		リモートセンシング(1)	司会 古田竜一(リモートセンシング技術センター)
14:10-14:30	B-1	LiDAR データによる樹冠間の標高測定誤差と林床特性との関係評価 ○木村恵輔・後藤真太郎 (立正大学)・平 春 (国立環境研究所)・その他1名		14:10-14:30	D-1	Considering of rice coverage estimation using ground images and spectral reflectance data ○Phan Thi Anh Thu・力丸 厚・坂田健太 (長岡技術科学大学)・その他2名	
14:30-14:50	B-2	波形記録式航空機 LiDAR データを用いた森林構造の把握に関する基礎的検討 ○前田佳子・本田謙一・今井靖晃 (国際航業)・その他1名		14:30-14:50	D-2	2時期の水指数と植生指数の変化を用いた水田の検出:2002年青森県での面積推定 ○岡本勝男 (農業環境技術研究所)・小野公大・土井佑也 (豊橋技術科学大学)	
14:50-15:10	B-3	航空機 LiDAR データを利用した森林の木部バイオマスの推定-立木密度の影響軽減方法の検討- ○粟屋善雄 (岐阜大学)・高橋與明 (森林総合研究所)		14:50-15:10	D-3	LED を用いた茶葉の品質推定のための夜間測定 ○金 宗煥 (アジア航測)・虎尾健志・付 杰奇 (伊藤園)・その他4名	
15:10-15:30	B-4	航空レーザデータを用いた河道内樹木の3次元分布評価手法の検討 ○世古口竜一 (朝日航洋)・石井将史・吉田 剛 (北海道朝日航洋)・その他1名		15:10-15:30	D-4	レーダー植生指数 (RVI) と ALOS-2/PALSAR2の農業利用への期待 ○山田康晴 (農村工学研究所)	
15:30-15:50	B-5	広域の航空測量成果の可視化について ○都竹正志・猿渡辰也・高市善幸 (中日本航空)		15:30-15:50	D-5	ハイパースペクトルデータを用いた Lasso 回帰による牧草生産性評価 ○小田川信哉・中澤明寛 (アジア航測)・武田知己 (宇宙システム開発利用推進機構)	
15:50-16:10	B-6	二波長 LiDAR システムのデータ解析アルゴリズム ○澤田義人(東京大学)・遠藤貴宏(リモートセンシング技術センター)・小林高士(宇宙航空研究開発機構)・その他1名		15:50-16:10	D-6	多偏波 SAR 画像を用いた世界のメガシティにおける都市密度推定 ○須崎純一・岸本将明 (京都大学)・梶本宗義 (NTT ドコモ)	

休憩

16:30-18:00 日本写真測量学会・第53回定時総会
於:コンベンションホール

18:00-20:00 懇親会 会場:An棟1階「Capo」
会費:5,000円(学生 4,000円)

第2日目 5月23日(金)

コンベンションホール (An棟2階)			大会議室 (An棟301・302)		
セッションE	画像計測(2)	司会 柳 秀治 (日本測量協会)	セッションH	リモートセンシング(2)	司会 後藤真太郎 (立正大学)
9:30-9:50	E-1	デジタルカメラ画像を用いた地上型 LiDAR における植物データの除去手法 ○杉山健太・秋山心平・高木方隆 (高知工科大学)	9:30-9:50	H-1	ナミビアの洪水-干ばつ対応農法提案のための衛星リモートセンシングを用いた湛水解析 ○水落裕樹 (筑波大学)・檜山哲哉 (名古屋大学)・奈佐原顕郎 (筑波大学)
9:50-10:10	E-2	Panoramic epipolar image generation for mobile mapping system ○陳 天恩・山本耕平・島村秀樹 (パスコ)・その他1名	9:50-10:10	H-2	グリッド手法による土地被覆変化の分析 ○哈斯巴干・木下嗣基 (茨城大学)・山形与志樹 (国立環境研究所)
10:10-10:30	E-3	スマートフォンの内蔵センサを用いた歩行者の自己位置推定 ○李 勇鶴・佐藤俊明・橘 菊生 (パスコ)	10:10-10:30	H-3	合成開口レーダ偏波相関解析による土砂崩壊箇所抽出の試み ○古田竜一(リモートセンシング技術センター)・柴田 純(日本スペースイメージング)
10:30-10:50	E-4	スマートフォンを用いた建造物の簡便計測について ○國井洋一 (東京農業大学)	10:30-10:50	H-4	東日本大震災の津波によって被災を受けた東北地方の長期モニタリング ○鄭 義喆・朴 鍾杰・浅沼市男 (東京情報大学)
10:50-11:10	E-5	天井裏点検を目的としたキュービックパノラマ画像による三次元計測 ○小野 徹・若木伸也 (ズームスケープ)・鈴木隆之 (インベシステム)	10:50-11:10	H-5	時系列衛星画像と現地調査による被災地の環境再生モニタリング ○長 幸平・福江潔也・内田 理 (東海大学)・その他1名
11:10-11:30	E-6	斜面災害写真の地図化 ○村井俊治 (発明家)	11:10-11:30	H-6	Forest type classification using aerial imagery and Lidar data ○チャタクリ スバス・朱 林・島村秀樹 (パスコ)

昼食

セッション F		レーザ計測(2)	司会 織田和夫 (アジア航測)	セッション I	GIS	司会 徳永光晴 (金沢工業大学)
12:45-13:05	F-1	衛星多偏波 SAR データを重畳した航空 LiDAR 点群による建物属性分類 ○山本達也・中川雅史 (芝浦工業大学)		12:45-13:05	I-1	空間効果を考慮した組成データ解析-国土数値情報の土地利用3次元メッシュデータを対象とした実証分析- ○吉田崇紘・堤 盛人 (筑波大学)
13:05-13:25	F-2	簡易型地上レーザーを用いた熱帯林計測 ○加藤 顕・梶原康司・本多嘉明 (千葉大学)		13:05-13:25	I-2	逆ジオコーディングにおける位置方位付き画像群の位置配列修正法 ○遠藤弘隆 (パスコ)・中川雅史・田中至道 (芝浦工業大学)
13:25-13:45	F-3	急傾斜地における計測機体と計測手法の検討 ○吉川由里子・臼杵伸浩・佐野寿聡 (アジア航測)・その他4名		13:25-13:45	I-3	災害時における中間支援組織を支援する SNSxGIS の役割 ○酒井聡一・新沼航平・後藤真太郎 (立正大学)・その他1名
13:45-14:05	F-4	航空機 LiDAR を用いた東日本大震災津波による海岸林被害の精密把握 ○小谷英司・中村克典・坂本知己 (森林総合研究所)		13:45-14:05	I-4	災害時におけるクラウド型 GIS による状況認識の統一手法と訓練への適用 ○後藤真太郎 (立正大学)・沢野伸浩 (金沢星稜大学)・酒井聡一 (立正大学)・その他1名
14:05-14:20				休憩		
セッション G		特別セッション	司会 山下 恵 (東京農工大学)	セッション J	写真測量	司会 小野 徹 (ズームスケープ)
14:20-16:20		テーマ「地球観測衛星による継続観測の重要性を考える ~今後の社会貢献・ビジネス利用に繋がる継続的利用のあり方~」 ◆パネリスト ・前原正臣 (内閣府宇宙戦略室) ・福田 徹 (リモート・センシング技術センター) ・祖父江真一 (リモート・センシング技術センター) ・赤松幸生 (国際航業) ・竹内 渉 (東京大学) ◆司会 ・本多嘉明 (千葉大学)		14:20-14:40	J-1	UAV を利用した土木構造物の視認 ○小阪卓也・徳永光晴 (金沢工業大学)
				14:40-15:00	J-2	小型無人航空機を用いた空中写真測量における精度と標定点の評価 ○東 健太 (イメージワン)・飛田幹男 (国土地理院)
				15:00-15:20	J-3	小型 UAV 航空測量結果の精度検証 ○小花和宏之 (千葉大学)・早川裕式 (東京大学)
				15:20-15:40	J-4	回転翼型無人航空機を用いた公共測量作業地形図データ整備について ○柳 秀治・津留宏介 (日本測量協会)・吉田貴樹 (BIZWORKS)・その他5名
				15:40-16:00	J-5	二時期の ALOS-PRISM 画像による自動変化抽出及び自動図化の検討 ○笹川 啓 (国土地理院)・Baltasvias Emmanuel・Sultan Kocaman Aksakal (ETH Zurich)
				16:00-16:20	J-6	月はどうやって生まれたか-南部アフリカにおける3度の小惑星衝突についての考察 ○得丸公明 (自然思想家)
16:20-16:30				閉会のあいさつ 副会長 長 幸平		